

10月29日 記念式典
山田大使 挨拶文

- 本日は、日伯の強固な関係や、御出席の皆様の多大な協力の結果として、本式典が開催されたことを、光栄に思います。特に、本式典を主催して頂いた伯国際協力庁の皆様及びその他の外務省、保健省、環境省、国防省および UNOPS 等関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

(新型コロナ対策)

- 今般、伯における新型コロナウイルス感染症対策として、日本政府は、医療機材の支援を実施することを決定しました。
- UNOPS を通じ、CT スキャナーや X 線撮影装置等の医療機材が、今後、全国の医療機関に届けられる予定です。CT スキャナー等の医療機材は、日本が新型コロナウイルス感染症に立ち向かっていく中で、肺炎等の早期発見に特に有効でした。
- 日本政府は、本支援に加え、国際機関を通じた支援、地方政府等への寄付、専門家会議の開催、下院特別委員会での日本の学校における取組紹介などを実施してきています。これらの取組を通じ、日本は、ブラジルの保健・医療体制の強化に寄与し、感染対策と経済活動を両立させた、新しい日常の創造を力強く応援していきます。

(アマゾン森林火災対策)

- 次に、ブラジル・アマゾン森林火災に対し、日本政府より緊急支援物資を供与しました。
- UNOPS を通じて、防火服、防火手袋、ヘルメットセットおよび浄水器が今まさに、最前線で消火活動にあたっている関係者に届きつつあります。これは、2019年9月、国際協力機構(JICA)を通じて行った支援に続く2度目の協力となります。
- また、アマゾン地域の森林保全のためには、当面の消火活動に加えて、違法伐採対策を含む森林消失の根本原因への中長期的な観点から対処が必要です。アマゾン地域における森林保全と両立した持続可能な開

発は可能であると考えます。日本は、ブラジルとともに何が必要かを考え、ともに具体的なプロジェクトを進めていきます。

(結び)

- 最後に、これらの支援が、日伯両国の友好協力関係の更なる増進と両国国民の絆の更なる強化に寄与することを祈念して、私の挨拶とさせていただきます。